

市民厚生常任委員会 所管事項調査での意見と計画への反映状況

平成28年12月15日(木)開催

① この計画書の中には行政だけでは地域福祉というものを実行するのは難しいということ
で、住民自ら協力的に関わってほしいということが書かれていると思う。行政と市民との関
係はどうなのか。対等な関係にあるのか。対等になって始めないとだめなことである。そこ
の認識をしっかりと示す必要があると思う。

⇒ 計画書 P1の計画策定の趣旨下段に地域福祉における連携による取り組みのイメージ
図を新たに掲載

② これは提言になるが、弱い立場にいる人を一人にしないという社会づくりが大事だと思う。
そうゆう相談をどこにすればよいのか。生活保護の増加、貧困、医療など様々な相談事を
誰がどのように受けて施策に反映していくことが課題だと思う。その辺の認識を聞かせて
ほしい。

⇒ P20の②相談体制づくりの推進に記載済

③ 福祉の各課題解決に向けて一つのモデル的なものがあつたとして、それをどのように市
内に増やしていくかということだと思う。そういったことは考えているか。

⇒ モデル的取り組みとして、地域ケア推進会議を平成 28 年度から始めていることを注釈
で説明済。

④ 計画書の 17 ページ以降の施策の展開について。具体的に展開する策ということを伝え
るためには数値化する必要があると思う。とにかく数値化して、課内で徹底検証してもらい
たい。

⇒ P16の基本目標の中で本計画期間中の重点項目を定め、定めた重点項目について、
数値目標を設定した。

- (1) P17にボランティア団体の団体数、会員数の目標値を設定
- (2) P22 に生活困窮者自立支援制度利用者の目標値を設定
- (3) P23 に避難行動要支援者制度同意率の目標値を設定
- (4) 設定した数値目標を検証していくためのシステムについて、第4章を追加し、その中で計画の推進体制や進行管理について記載した。

⑤ ボランティア活動への参加ということで、ボランティア意識というものが高まってはいるが、どうやって参加したらいいかわからなかったり、あるいは団体そのものが高齢化して、支える側どころか支えられる側になったりするのではないか。その辺をどう課題として整理して今まで参加しない人にはどうやって参加してもらったらいいのか。その辺を計画の中に盛り込んでいってほしい。

⇒ P29(3) ボランティア活動等への参加に記載済

⑥ 策定委員会の議事録を委員会に出してほしい。例えば、障害者施設の代表者なら障害者に関してどうゆうことを求めているのかとか、委員さんの考え方がわかる資料がほしい。

⇒ 議事録となると膨大な量になるので、今後は策定委員会で出された意見の一覧を出すこととしたい。